

第 2 回市民ワークショップの実施報告

1 ワークショップの概要

(1) 位置付けと目的

「第 2 回府中基地跡地留保地利用計画策定に向けたワークショップ（以下「ワークショップ」という）」は、留保地の土地利用の方針に関し、広く市民の意見を頂くことを目的として実施した。市民ワークショップで頂いた意見は、素案作成時に行った市政世論調査の結果等と合わせて「市民意見」とし、検討協議会で検討を進める上での参考として提示するものである。

ワークショップの位置付けについて、図 1 に示す。

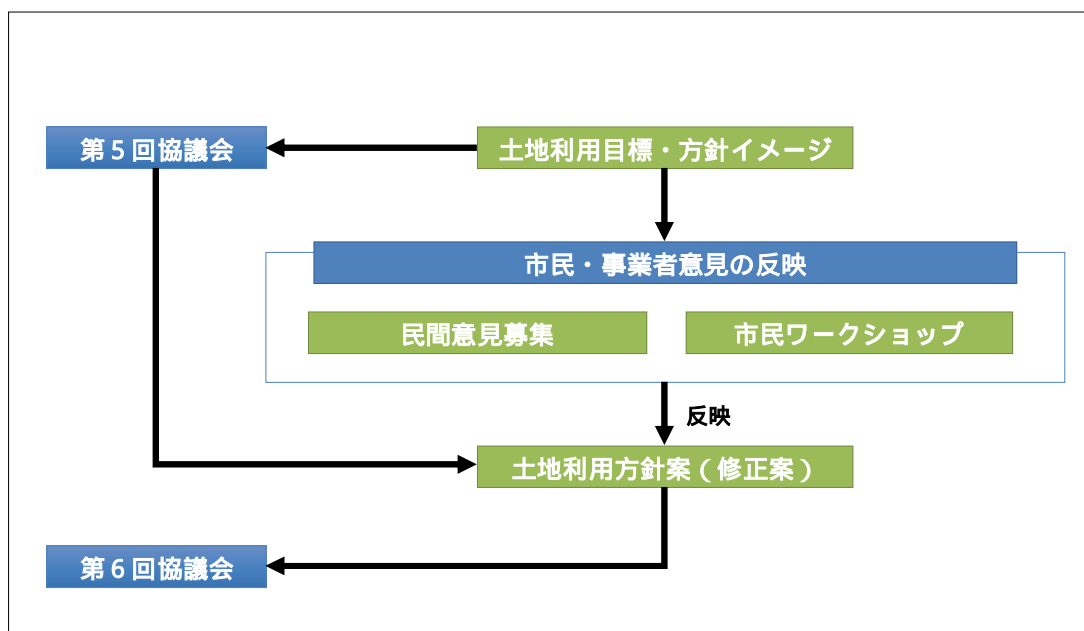


図 1 ワークショップの位置付け

(2) 実施日時及び参加者数

ワークショップの実施日時、場所、参加者数については、表 1 に示すとおりである。

表 1 市民ワークショップの実施日時、場所、参加者数

実施日時	場所	参加者数
平成 30 年 7 月 20 日（金） 19：00-21：00	府中市民活動センタープラッツ 第一会議室	12 名
平成 30 年 7 月 22 日（日） 14：00-16：00	府中市生涯学習センター 研修室 2	15 名

資料 6 - 2

(3) ワークショップの進め方

ワークショップは、提示した土地利用目標・土地利用方針イメージ3案それぞれに対し、「こんな風にしたい」という意見を検討シートに記入していただき、班内で発表により共有した。

検討シートは、図2のとおりである。

府中基地留保地ワークショップ検討シート(土地利用の方針案についてのご意見)

1案 スポーツ推進・健康増進に寄与する活力あふれるエリア

土地利用目標及び土地利用方針イメージ


スポーツの推進と健康増進に寄与する活力あふれるエリアを創出する。また、オープンスペース等を活用し、緑の連続性や既存の周辺環境の調和と保全を図る。

【スポーツ・健康】

- 世代を超えたスポーツの在来と心身の健康増進
- 若年化するスポーツ施設の増設
- 緑の遊憩と多様な人々の近わいの調和

【住まい・暮らし】

- 周辺地域の調和
- 暮らしの利便性の向上
- 若年化する周辺の支線街道の再編



※ 図中の大きな黄色い枠は、旧留保地の範囲を示すものであります。

あなたが望む「こんな風にしたい」ことは?

【スポーツ・健康】

【住まい・暮らし】

(メモ) 他の方のご意見を聞いて感じたことなどを記入してください

案作成の経緯

現在、市の大きな課題として、スポーツ施設や学校の老朽化対策等があることから、市内に残された農後の大規模土地である「留保地」を「留保地」として活用し、課題の解決へとつながりたい。

一方で、留保地の活用に関する市民要望としては、市政世論調査やワークショップの結果から、機を醸成しながら就寝づくりを行える、子供がら高齢者まで幅広い世代による活用が求められている。

これらの課題を解決し、効果的・相乗的にサービス向上や市民の活力の創出へとつなげるため、メインテーマに「スポーツの推進」と「健康増進」を掲げ、連携して取り組める土地利用を考えるべく策定するものである。

図2 当日の検討シート(1案)

(4) 参加者アンケート

ワークショップ終了後に、参加者に対してアンケートを実施した。アンケートの設問内容は、表2に示すとおりである。

表2 アンケート設問内容

アンケート設問内容
1. 本日のワークショップを通じて、「留保地」への理解は深まりましたか?
2. ワークショップを通じて「利用計画」に対する興味は深まりましたか?
3. ワークショップを通じて「土地利用の方針」に対する考えは深まりましたか?
4. 今回のワークショップの全体を通しての感想はいかがでしたか?

資料 6 - 2

2 市民ワークショップの開催結果

(1) 開催状況

図3に、市民ワークショップの開催の様子を示す。両日とも、各班において活発な意見交換がなされた。



図3 ワークショップの様子

資料 6 - 2

(2) 【結果】土地利用目標・土地利用方針イメージに対する意見

土地利用目標・方針イメージの案ごとに、「こんな風にしたい」検討シートにて示された意見を総括した。

ア 1案：「スポーツ推進・健康増進に寄与する活力あふれるエリア」

表3 1案に対する主な意見

<p>「スポーツ・健康」に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外から観客を呼び込めるようなスポーツ施設が良い。 (例：ボールパーク、武道館、スタジアム等の施設) ・高齢者や子どもなど、年代に応じた機能等に配慮し、年代を問わず全ての人のための健康増進の場としたい。 (例：健康遊具やアスレチック施設、ウォーキング・自転車コースの整備等) ・府中市の個性や基地跡地留保地の環境など、特徴を活かした運動施設が良い。
<p>「住まい・暮らし」に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の拠点整備や子育て関係施設整備があると良い。 ・健康に関連し、農工大と連携して地元農産物の販売等の地産地消の場があると良い。 ・地域住民の生活に資する機能が必要である。 (例：日用品のあるスーパー、ごみ処理施設、ちゅうバスのターミナル等)

イ 2案：「緑を中心とする憩いと交流のエリア」

表4 2案に対する主な意見

<p>「緑と憩い」に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民向けとしてあまり人は来てほしくない。 ・市外からの観光客を呼び込みたい。 ・子供向け機能の整備を行うと共に、大人も楽しめる場としたい。 ・緑を生かしながらも、他の公園とは異なる場所にしたい。 (例：管理者が常駐し子供たちが自由に遊ぶことのできる場であるプレイステーション、野外撮影スタジオ、フラワーガーデン、パラボラアンテナ等の史跡巡りツアーが可能な公園等)
<p>「住まい・暮らし」に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1案と同様の意見に加え、公園と調和した緑を多く配置した施設、周辺の既存住宅地と調和した低層環境が整備されてほしい。 ・住宅地が整備された場合、学校の生徒数の問題に留意する必要がある。

資料 6 - 2

ウ 3案：「都市としての魅力を向上する新たな価値を創出するエリア」
土地利用の方針イメージは「多様な活力創出」と「住まい・暮らし」、「スポーツ・健康」である。検討シートの総括を表5に示す。

表5 3案に対する主な意見

<p>「多様な活力創出」に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の魅力を向上させ、市外から人を呼び込むようなエリアづくりを行いたい。 (例：商業施設、企業のサテライトオフィスの誘致から周辺の美術館・芸術劇場と連携した文化創造の発信基地、福祉関係の人材育成が可能な教育機関の誘致等) ・地域住民も含む多様な主体が利用することで、活力が創出される。 (例：市民協働の見本の場合として、地域に開かれたボランティアセンターや高齢者の集いの場の整備等) ・活力創出を行う上で、府中の魅力を生かしたものであることや緑の特徴を活かしたものとすると良い。
<p>「住まい・暮らし」に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1案や2案と同様に福祉施設の導入の要望。また、機能の複合利用を図ることがよい。 (例：商業施設と高齢者が利用するコミュニティサロンや学童教室との複合化、高齢者福祉施設と保育園の複合化、墓地と地下ごみ処理施設の複合化または住宅と地下ごみ処理施設複合化等) ・人が多く集まるために、交通アクセスを改善する必要がある。 (例：ちゅうバス路線の留保地内への導入や生活道路の整備等)
<p>「スポーツ・健康」に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「多様な活力創出」に関連して、プロスポーツチームの誘致や、スポーツと関連した施設を整備もしくは誘致することで市外から人を呼び込む。 (例：スポーツの研究施設・合宿が可能な宿泊施設等)

エ 全案共通

その他、全ての案に共通して多く挙げられた意見があった。

表6 全案に共通する主な意見

<p>「多様な活力創出」に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑を生かしたエリアとすると良い。 ・全ての施設において、バリアフリーが必要である。 ・留保地東西の行き来、駅から留保地までのアクセスの向上を図る必要がある。 ・災害時に利用可能な施設となると良い
------------------------	---

資料 6 - 2

(3) 【結果】施設機能に係る意見

検討シートの意見には、具体的な施設機能に関する意見も多くあった。それらを3案それぞれの土地利用方針ごとに第1回市民ワークショップと同様の分類によって整理した。

ア 1案：「スポーツ推進・健康増進に寄与する活力あふれるエリア」

(7) 「スポーツ・健康」に関する施設機能

表7 施設機能に係る主な意見（1案：スポーツ・健康）

提案された施設機能	主な意見内容
集客施設 (美術館・アミューズメント施設など)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型の施設 ・基地跡地の歴史文化を発信する施設 ・温泉
オフィス	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメスタジオ(ラグビー施設と複合化)
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツもできる公園 ・ドッグラン ・健康遊具のある公園 ・子供の遊び場 ・基地跡地を見学できる公園
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールパーク ・武道館 ・バスケットボールのスタジアム ・ラグビー施設 ・スポーツジム ・運動広場 ・アスレチック施設

(1) 「住まい・暮らし」に関する施設機能

表8 施設機能に係る主な意見（1案：住まい・暮らし）

提案された施設機能	主な意見内容
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模の商業店舗 ・スーパー ・ショッピングモール
集客施設 (美術館・アミューズメント施設など)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物直売所 ・自然園ミュージアム
福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・病院 ・子育て支援施設 ・保育所と高齢者福祉施設の複合施設 ・医療まちづくりの拠点
その他施設機能	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木墓地、公園墓地 ・ごみ処理施設 ・ちゅうバスのターミナル

資料 6 - 2

イ 2案：「緑を中心とする憩いと交流のエリア」

(7) 「緑と憩い」に関する施設機能

表 9 施設機能に係る主な意見（2案：緑と憩い）

提案された施設機能	主な意見内容
集客施設 (美術館・アミューズメント施設など)	<ul style="list-style-type: none"> ・野外撮影スタジオ ・道の駅 ・レジャーパーク（芝をテーマ） ・観光施設
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイステーション（子どもが自由に遊べる場） ・ドッグラン ・運動広場 ・フラワーガーデン ・ジョギングコース・遊歩道 ・森林公園 ・既存のパラボラを残した公園 ・防災公園 ・芝生広場
福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期医療施設、ホスピス ・保育園

(1) 「住まい・暮らし」に関する施設機能

表 10 施設機能に係る主な意見（2案：住まい・暮らし）

提案された施設機能	主な意見内容
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館と関連した住宅
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設（災害時活用可能な施設）
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・畑 ・農園（レストランを併設）
福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・クリニックビル ・介護予防センター ・在宅医療拠点
文教施設	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木墓地、公園墓地 ・ごみ処理施設 ・自動運転実験コース

資料 6 - 2

ウ 3案：「都市としての魅力を向上する新たな価値を創出するエリア」

(7) 「多様な活力創出」に関する施設機能

表 1 1 施設機能に係る主な意見（3案：多様な活力創出）

提案された施設機能	主な意見内容
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングパーク ・店舗ではなく屋台のようなもの ・日用品を買うスーパー
集客施設 (美術館・アミューズメント施設など)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型の施設 ・美術館 ・府中ブランドの発信施設 ・会社帰り向けのビアガーデン ・映画館 ・温泉
その他施設機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター ・文化創造の発信基地

(1) 「住まい・暮らし」に関する施設機能

表 1 2 施設機能に係る主な意見（3案：住まい・暮らし）

提案された施設機能	主な意見内容
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・高層マンションは必要ない
工場・物流拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・農業工場
オフィス	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスパーク ・アニメスタジオ
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・健康遊具のあるスポーツができる公園 ・ドッグラン ・緑の多い公園 ・廃墟やパラボラを活かした公園
福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模の医療施設 ・子育て支援施設 ・クリニック ・保育所と高齢者福祉施設の複合施設 ・医療拠点
文教施設	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、大学 ・ミュージアム（若者が活躍できる場、環境を学べる場） ・アカデミックパーク ・介護、医療、子育て人材の育成の場
その他施設機能	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木墓地、公園墓地 ・ごみ処理施設、生ごみ処理施設 ・市民活動を支援する施設

資料 6 - 2

(ウ) 「健康・スポーツ」に関する施設機能

表 1 3 施設機能に係る主な意見（3案：健康・スポーツ）

提案された施設機能	主な意見内容
研究施設	・スポーツに関する研究施設
宿泊施設	・スポーツ合宿や企業研修に使える施設
スポーツ施設	・プロスポーツの誘致可能な施設 ・運動広場 ・アスレチック施設

資料 6 - 2

(5) アンケート結果

ワークショップ終了後、各会場において参加者に対するアンケートを行った。アンケート結果の概要は、次のとおりである。なお、アンケートの各設問の集計結果について、参考として次ページ以降に示す。

アンケート結果の概要

- ・ 留保地への理解は、「深まった」や「やや理解が深まった」との回答が7割以上を占めており、市民の理解度が高まったことがわかる。
- ・ 「利用計画」に対して、「今までよりも考えるようになった」や「考えるきっかけとなった」との回答が9割近くを占め、「府中市の現状と課題」への意識の高まりが見受けられる。
- ・ 「土地利用の方針」について、「今までよりも考えるようになった」や「考えるきっかけとなった」との回答が9割以上を占め、「土地利用の方針」に対する市民意識の高まりが見受けられる。
- ・ 全体を通しての感想では、両日とも「他の人の意見が聞けた」「自分の意見を言うことができた」との回答が多く、概ね、満足度の高いワークショップとなったといえる。

資料 6 - 2

ア 「問1 本日のワークショップを通じて、「留保地」への理解は深まりましたか？」

全体では、「理解が深まった」が 32%、「やや理解が深まった」が 48%であり、ワークショップを行った意義はあったと考えられる。

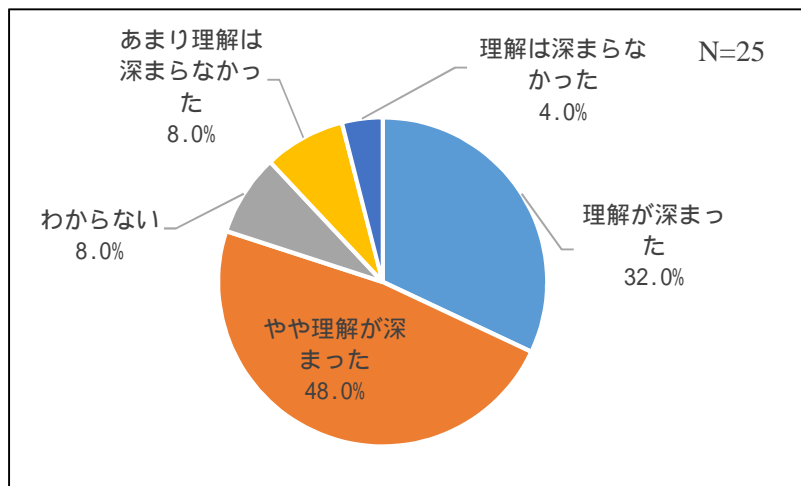


図4 ワークショップを通じた「留保地」への理解度

イ 「問2 ワークショップを通じて「利用計画」に対する興味は深まりましたか？」

全体では、「今までより深まった」が 36%、「深まるきっかけとなった」が 52%であり、利用計画に対する興味を促進したと考えられる。

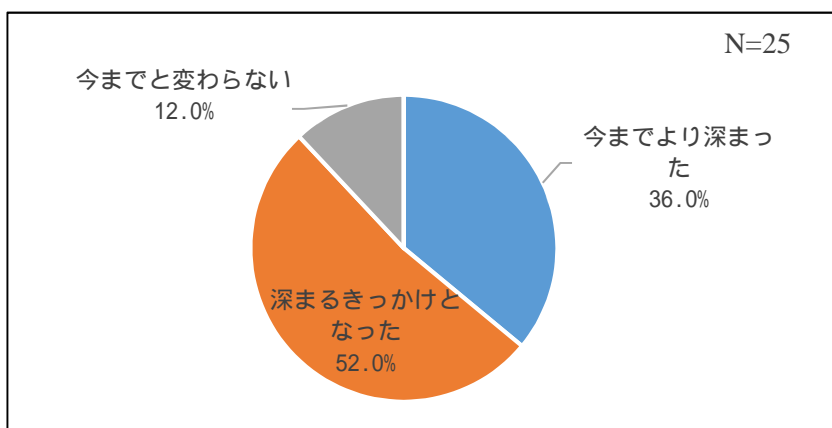


図5 ワークショップを通じた「利用計画」への興味の度合い

資料6 - 2

ウ 「問3 ワークショップを通じて「土地利用の方針」に対する考えは深まりましたか？」

全体では、「今までより考えるようになった」が48%、「考えるきっかけとなった」が48%であり、多くの参加者が留保地について関心を深める機会となったことがわかる。

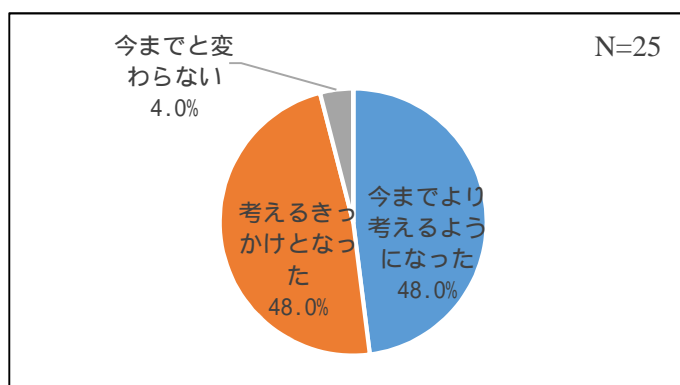


図6 ワークショップを通じた「土地利用の方針」への考え

エ 「問4 今回のワークショップの全体を通しての感想はいかがでしたか？」

全体では、「他の人の意見が聞けた」が多く、回答者の約9割に当たる24票の回答があった。

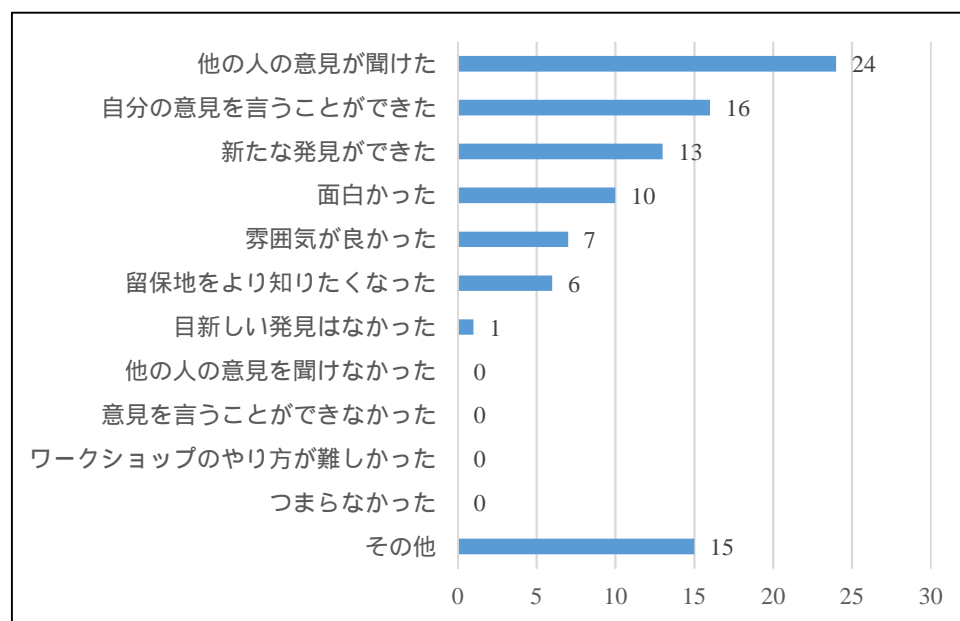


図7 ワークショップの感想

資料 6 - 2

なお、図 8 のグラフにおいて、ワークショップの感想を「その他」とした方の 15 件の具体的な意見内容については、表 9 に示すとおりである。

表 1 4 その他の内容

その他の内容	
1	同じテーブルの方達がおだやかな方ばかりで楽しめました。
2	自分の意見を伝えることができた事は良かったと思う。それぞれの年齢や立場での意見がきけたので良かったと思う。広い土地なので様々な意見を生かし、多種のものができるとを期待したいと思います。子どもだけ、高齢者だけ、障害者だけ、のためのものではなく、様々な市民のために使ってほしい。
3	出来れば次回も参加したい。どうなってゆくのか見守りたい。
4	今日の話し合いをより発展的に検討していただきたいと思います。
5	留保地は子供の頃からつくしを採ったりしながら、少し廃墟でこわいというイメージがありましたが、新たな活用が出来る機会を考えることが出来ました。また、土壌汚染もあると知りました。
6	今回のワークショップだけでも意見がまとまらないのに、今後、どうやってまとめあげていくのだろうか...と心配でもあり、興味深くもある。
7	収益を上げられる土地や施設を考えると、なかなかアイデアが出て来ない。でも造って終わり、管理は知らないでは済まない。
8	府中市としての考えが不明。方向性不明。国の方針は？ワークショップの意見はどうなるのか不明。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・参加される方に対して、事前にこういった資料があるよ、というアナウンスがあるとより深い意見交換ができると思います。 ・立地適正化計画を策定後に利用計画を策定する方が良いのではないかと思います。 ・都市計画マスタープランの改定もどう行うのか。アナウンスは必要ではないかと思えます。
10	意見がどう反映されたかのフィードバックをいただければうれしいです。
11	留保地について、協議会、ワークショップ等の情報公開を HP その他で周知して欲しい。
12	施設？
13	個人の発想の小ささがわかった。
14	ワークショップの切り口を変えて、実際利用する 20-30 年後の府中市の現在より変わっているデータ(予測)がほしかった。その中で必要なものが見えてくる。(気候の変動、人口構成の比、税収、人口減、空マンション、空地問題(30年後))
15	話しやすい雰囲気がもう少しほしかった。